

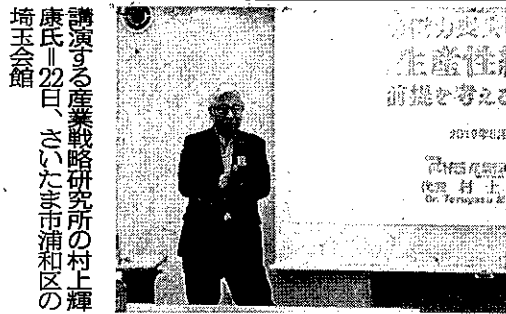
2019年(令和元年)5月24日

「生産性経営必要に」

産業戦略研 村上氏講演 個人の付加価値増大

生産性向上に関する調査研究機関の日本生産性本部(東京都千代田区)の泉本部(さいたま市浦和区)が主催する特別講演会(埼玉縣信用金庫、埼玉新聞社など後援)が22日、さいたま市浦和区の埼玉会館で開催された。約70人が参加し、労働力減少時代における持続可能な社会経済システムや、生産性経営の必要性について学んだ。

産業戦略研究所(東京都港区)の村上輝康代表が「労働力喪失時代の『生産性時代』の前提を考える」と題して講演。村上氏は、日本経済の課題として、生産年齢人口の減少や供給構造改革の欠如などを挙げ、「規模の拡大を図る成長経営から、一人当たりの付加価値の増大を重視する生産性経営が必要になる」と指摘した。



講演する産業戦略研究所の村上輝康氏。22日、さいたま市浦和区の埼玉会館

その上で、生産性を持続的に向上させる「スマートエコノミー」への転換を提言。「企業の新陳代謝を促進するためには、改革支援を、勘や経験に頼らないサイバー産業の科学化も進め、成果の適正分配で消費を活性化させていく好循環こそ、スマートエコノミー。企業も生産性経営を可視化して公表し、改革実現に取り組んでいくことが必要だ」と述べた。

(山田浩美)